

順位	
議席 氏名	質 問 事 項
<p style="text-align: center;">1</p> <p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">20 番 杉 田 勝 典</p>	<p>1. 消費税増税による影響と対策について</p> <p>(1) 平成 31 年 10 月からの消費税増税に当たって、当市における駆け込み需要や反動減などの影響をどのように見通しているか。</p> <p>(2) 消費税増税への対応として、次年度の事業など市としてでき得る対策についてどう考えているか。</p> <p>2. 外国人労働者の受入れと多文化共生対策について</p> <p>(1) 国内の深刻な人手不足を背景に、外国人労働者の受入れ拡大のための「入管難民法改正案」が提案されたが、当市の人手不足の実態をどのように捉えているか。また、市内企業が外国人労働者を必要としている状況はどうか。</p> <p>(2) 外国人労働者の受入れによる外国人市民の増加に伴い、「多文化共生社会」の構築も必要になってくると考えるが、今後、どのような取組を行っていくのか。</p> <p>3. おもてなし規格認証制度の普及について</p> <p>(1) 来越者などの満足度を高めるため、市内のサービス業の振興に向け、経済産業省が創設した「おもてなし規格認証制度」を周知・促進をしてはどうか。</p> <p>4. 市内産木材の活用促進について</p> <p>(1) 栃木県矢板市の民間企業で構築した「母船式木流システム」を、当市内においても製材工場等と市でタイアップして取り組み、市内産木材の活用促進を図れないか。</p> <p>5. ランドセルや鞆を軽くする対策の現状について</p> <p>(1) 全国的に「ランドセルや鞆が重い」という問題について、文部科学省は通達を出しているが、この問題についての当市の対応はどうか。</p>
順位	
議席 氏名	質 問 事 項
<p style="text-align: center;">2</p> <p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">4 番 宮 川 大 樹</p>	<p>1. 高田公園の将来的な在り方について</p> <p>(1) 高田公園基本計画及び高田公園短期整備計画の進捗状況はどうか。</p> <p>(2) 上越市野球協会から新球場建設の陳情書が提出されたが、高田公園野球場の在り方についてどう考えているか。</p> <p>(3) 高田公園内の駐車場に、恒常的に駐車している車両が見受けられるようだが、市としてどう対応しているのか。</p> <p>(4) 「高田公園」の名称を「高田城址公園」へ変更したいという要望が出されているが市の考えはどうか。</p> <p>(5) 上越市立歴史博物館の屋上から見える、高田城三重櫓を含む本丸西側の樹木を整備すべきと思うがどうか。</p> <p>(6) 高田城復元を含めた高田公園の長期的な在り方を、市として地域住民や市民団体の皆さんと一緒に検討していく考えはないか。</p>

順位	
議席 氏名	質 問 事 項
3	<p>1. 市施設への新電力の導入について</p> <p>(1) 当市施設の年間電力消費量と電気料金はいくらか。</p> <p>(2) 市の経費削減を進める上で、契約を新電力に切り替える考えはないか。</p>
2 番 牧 田 正 樹	<p>2. 会計年度任用職員制度について</p> <p>(1) 2020 年度から施行される会計年度任用職員制度に向けたスケジュールをどう考えているか。</p> <p>(2) 現時点で検討されている制度内容について、以下の点を聞きたい。</p> <p>ア 現在の職を改めて検証し、正規職員による配置が適当と考えられた場合、常勤職員への転換も含めた正規職員の配置が適当と思われるかどうか。</p> <p>イ 今回の法改正は、臨時・非常勤職員の処遇が、これまで法の谷間におかれ、正規職員との格差がある労働環境に置かれてきたことの改善が趣旨と考えるが、その趣旨にのっとり、処遇改善に結び付けていくかを確認したい。</p> <p>ウ 今回の法改正では、フルタイムの非常勤職員の任用が明確化されている。処遇を抑える手法として、あえて勤務時間を短く設定するようなことがあってはならないと考えるかどうか。</p> <p>エ 今回の法改正では、「会計年度任用職員」の給料又は報酬の水準、手当支給（期末手当）、休暇制度について、常勤職員との均衡を図ることが主眼となっているが、具体的にどう取り組むつもりか。</p> <p>オ 法改正の趣旨を踏まえ、地方財政計画に必要な財源を盛り込むよう、市長会などを通じて国に要請するべきではないか。</p> <p>カ 「会計年度任用職員」という名称は法律上の名称であり、各自治体の判断で変更することも可能となっている。募集等で雇用不安を助長するような名称は改めたほうが良いと考えるかどうか。</p> <p>(3) スケジュール、制度内容について、職員団体との協議を行い合意の上で条例化すべきと考えるかどうか。</p> <p>3. 市職員の長時間勤務の縮減に向けた取組について</p> <p>(1) 「働き方改革」関連法の成立を受けて市職員の長時間勤務の縮減に向けてどのように取り組んでいくか。</p> <p>(2) 市職員の時間外勤務の状況について、過去 5 年間の月 80 時間超の人員数を聞きたい。</p> <p>(3) 職員の出勤時間の把握について、どのようになっているか。例えば、パソコンのログイン、ログアウト時刻との照合など、サービス超勤を生じさせないようどのように取り組んでいるか。また、特に交代制職場では、タイムカードや IC カードによる勤務時間の確認が適当と考えるかどうか。</p> <p>(4) 市定員適正化計画の職員数の目標値と実際の職員数の乖離があると思うがその状況と原因を聞きたい。</p> <p>(5) 長時間勤務の縮減のために、有効な対策として正規職員の適正配置と異動サイクルを長くすることが必要と考えるかどうか。</p> <p>4. イトーヨーカドー直江津店閉店に対する市の取組について</p> <p>(1) 市に対して、イトーヨーカ堂が直江津店の閉店の方針を通知したとの報道があるが、市として把握している現状について聞きたい。</p> <p>(2) 撤退後、所有者が代替店舗を誘致すると思うが、仮に空きスペースができ、市に要請があった場合、例えば子どもセンターや高齢者が集う場、学生の勉強スペースを設置、さらに「うみがたり」と連携したコーナー、物産スペースを設けることにより、交流、にぎわいの拠点となり、テナントや周辺商店街の売り上げ増に結びつくと思うが、どうか。</p>

順位	質 問 事 項
議席 氏名	
<p style="text-align: center;">4</p> <p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">7 番 橋 本 洋 一</p>	<p>1. スポーツ施設の整備について</p> <p>(1) 10 月に上越市野球協会から「新野球場建設に関する陳情書」、11 月に上越市ソフトボール協会から「新ソフトボール場の建設に関する要望書」が提出されたが、市長の考えを聞きたい。</p> <p>2. 学校施設の防犯対策について</p> <p>(1) 校舎等学校施設におけるハード面の防犯対策と不審者やいたずら、子ども同士のトラブルなど児童や生徒の安全を脅かす事案の防止策について、現状の取組を聞きたい。</p> <p>3. 公用文の表記について</p> <p>(1) 「広報上越」や各種計画など、市民向けの公用文に多くのカタカナ語が使用されているが、平易な日本語で表記すべきと考えるが、いかがか。</p>
順位	質 問 事 項
議席 氏名	
<p style="text-align: center;">5</p> <p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">31 番 橋 爪 法 一</p>	<p>1. 上越市耐震改修促進計画について</p> <p>(1) 取組の目標と現状の課題について聞きたい。</p> <p>(2) 目標を確実に実現していくための方策をどのように考えているのか聞きたい。</p> <p>2. 会計年度任用職員制度について</p> <p>(1) 総務省が示したマニュアルによる臨時・非常勤職員の実態把握はどこまで進んだか。また、その結果の公表はどうするか聞きたい。</p> <p>(2) 制度開始に向けた準備作業はどのように進められているのか。</p> <p>(3) 本制度の運用によって、本来正規職員を採用すべきところの代替とならぬよう留意する必要がある。この点についてどう考えるか。</p> <p>3. 原子力防災訓練について</p> <p>(1) 11 月 18 日に行われた第 3 回原子力防災訓練の成果と課題をどう整理しているか。</p> <p>(2) 今後、訓練をどのように充実していく考えか、その基本的な考えを聞きたい。</p>

順位	
議席 氏名	質 問 事 項
<p style="text-align: center;">6</p> <p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">5 番 山 田 忠 晴</p>	<p>1. 木田庁舎や総合事務所での受付対応について</p> <p>(1) 木田庁舎には、多くの市民が窓口利用や電話で問い合わせを行っていると思うが、総合案内の取扱件数及び電話での問い合わせ数が年間どれくらいか聞きたい。また、同様に、各総合事務所の総合窓口の取扱件数及び電話での問い合わせ数についても、平均すると概ねどれくらいか聞きたい。</p> <p>(2) 窓口等で対応する職員に対してどのような研修等を行っているか。研修内容や時間、期間について聞きたい。</p> <p>(3) 総合案内に障害者の方が来られた際の対応について、聴覚障害など配慮を必要とする方にどのように対応されているか聞きたい。</p> <p>(4) 市では障害福祉の窓口を設置しているか。また、利用者はどれくらいいるか聞きたい。</p> <p>(5) 聴覚障害の方のための手話等の必要性について市はどのように考えているか。</p> <p>(6) 聴覚障害の方が安心して暮らせる上越市を目指し、手話が広く市民に言語として認知してもらえるよう、どのような取組をしているか。また、全国の自治体で「手話言語条例」を制定しているが、当市でも条例化する考えはないか。</p>
順位	
議席 氏名	質 問 事 項
<p style="text-align: center;">7</p> <p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">15 番 橋 本 正 幸</p>	<p>1. 国民健康保険の被保険者の負担について</p> <p>(1) 今年度から国民健康保険の都道府県単位化（広域化）始まったことに伴い保険税賦課方式が変わったが、被保険者の反応はどうか。</p> <p>(2) 国民健康保険は、被保険者の所得が低いにもかかわらず保険料が高い構造的な問題がある。こうした制度的な問題についてどう考えるか。</p> <p>(3) 子育て支援・少子化対策として保険税の「均等割分」の軽減を行う考えはあるか。</p> <p>2. 放課後児童クラブの現状と課題について</p> <p>(1) 当市においては、放課後児童支援員等の人材は確保できているか。また放課後児童支援員等の研修の実施状況を聞きたい。</p> <p>(2) 国では職員数・職員資格の基準緩和の動きがあるが、基準を変更した場合において、現在の基準を守るべきと考えるがどうか。</p>

順位	
議席 氏名	質 問 事 項
<p style="text-align: center;">8</p> <p style="text-align: center;">27 番 上 野 公 悦</p>	<p>1. 生活保護基準の見直しによる影響と就学援助における新たな対策の必要性について</p> <p>(1) 今回の生活保護基準の見直しによって、どのような影響がでているか。この見直しは、貧困対策に逆行しているのではないか。</p> <p>(2) 当市の単独事業として実施している就学援助制度について、以下の点について聞きたい。</p> <p>ア 当市の就学援助費補助事業の推移をみると、平成 25 年度の生活保護基準の見直し以後、受給者数、給付割合も減少の一途をたどっている。今回の見直しによって、生活保護を受けていない低所得世帯の子どもたちが、「就学援助」の要件が厳しくなることで就学援助を受けられなくなると考えている。当市の実態はどうか。</p> <p>イ 援助対象外となった家庭の子どもたちに対する救済を考えるべきと思うがどうか。</p> <p>ウ 準要保護基準を現在の生活保護基準の 1.3 倍から 1.5 倍に引き上げる考えはないか。また、経済的な格差によって教育を受ける権利が著しく制限されないように、国へ抜本的な教育支援制度を確立するよう求めるべきと思うが教育長の考えを聞きたい。</p> <p>2. 消費税が 10%に増税されることについて</p> <p>政府は、来年 10 月から予定どおり消費税を 10%に増税しようとしている。家計消費が極端に冷え込んでいる状況の中で、増税を強行することは市民生活と経済破壊につながる。</p> <p>(1) 消費税増税に関して以下の点について聞きたい。</p> <p>ア 市長は消費税の増税が目前にせまった市内の経済状況をどう見ているか。</p> <p>イ 消費税増税を行わないよう国に発信すべきと思うがどう考えているか。</p>
順位	
議席 氏名	質 問 事 項
<p style="text-align: center;">9</p> <p style="text-align: center;">28 番 近 藤 彰 治</p>	<p>1. こども食堂について</p> <p>(1) こども食堂は全国的に見ても増加の一途をたどっており、当市においても「こども食堂」の活動が行われている。この全国的な傾向や当市でも活動が行われている状況を、行政としてどのような認識を持っているのか聞きたい。</p> <p>(2) こども食堂は地域のコミュニティの場としての位置づけが大きいと思うが、行政として支援する考えはないか聞きたい。</p> <p>2. イトーヨーカドー直江津店の撤退について</p> <p>(1) イトーヨーカドー直江津店が来年 5 月 12 日に閉店を予定していると報道されているが、これまでの市への説明はどの様に行われたのか聞きたい。</p> <p>(2) 直江津地域の中核的な商業施設として集客をけん引してきた経緯があると同時に市民にとっても憩いの場でもあった。残された商業テナント及び新規参入するテナントに対しどのような支援を考えているのか。</p> <p>3. 小中学校全室のエアコン設置について</p> <p>(1) 先の 9 月定例会では、様々な情報を収集しながら、市の財政状況を勘案して、早急に検討を進めたいとしているが、その後の検討状況について聞きたい。</p> <p>(2) 近隣の自治体などでは補正予算を組み、設置を前倒しする方向が示されている。子ども達の命を守る観点からも早急に対応すべきと思うがどうか。</p>

順位	質 問 事 項
議席 氏名	
10	<p>1. 障害者の支援活動について</p> <p>(1) 官民一体の取組である上越市自立支援協議会は、障害者の支援体制の整備や改善に活かされていくと考えているが、その役割を果たしているか。</p> <p>(2) 地域においては、介護に関しては身近に関心も高い一方、障害に対しては関心が遠いイメージがあり、地域における支え合い活動が重要と思う。市ではどのように取り組んでいるか。</p> <p>(3) 「福祉交流プラザ」を上越市の障害者も含めた福祉の拠点と位置づけ、福祉支援活動に取り組んでいると考えるが、社会福祉協議会が移転した後もその役割を担っていくという考えはあるのか。</p>
<p>10 番 石 田 裕 一</p>	<p>2. 地域青少年育成会議の活動の成果と今後の課題について</p> <p>(1) 市が主導して行った平成 27 年度～平成 29 年度までの「中学生まちづくりワークショップ」を踏まえ、今年度からは地域が主体となる「地域青少年まちづくりワークショップ」が開催されている。この活動の意義と成果について市の考えを聞きたい。</p> <p>(2) 地域青少年育成会議の「地域の子どもは地域で育てる」という理念に基づき、地域と中学校が連携していると思うが、双方にかなりの負担が強いられていると感じる。各育成会の事務局についても、総合事務所の教育・文化グループや中学校等が支援している地域がある一方、独自で運営している地域があり、地域ごとに差がある。今後の負担軽減策や支援についてどう考えているか。</p> <p>(3) 設立から約 10 年を迎える地域青少年育成会議について市は今後どのように育てていくのか、その方針を聞きたい。</p>

順位	
議席 氏名	質 問 事 項
<p>11</p> <p>8 番 池 田 尚 江</p>	<p>1. 平成 31 年度予算編成及び建設予算の確保等について</p> <p>(1) 平成 31 年度予算について、現在編成作業中と認識している。当市は歳入に占める交付税の依存率が高いことから、今後明らかになる国の地方財政計画の決定が待たれるところである。市長は現段階でどのような予算編成方針で作業を進めているか聞きたい。</p> <p>(2) 建設予算の確保と発注の平準化について、下記の点を聞きたい。</p> <p>ア 建設業界を取巻く環境を改善するには一定の仕事量は不可欠であり、特に災害などの初動対応や被害拡大防止と早期な復旧工事など市民の生命財産を守るためにも建設事業者の役割は大きなものがある。そのためにも、計画的な建設事業費枠の確保と切れ目のない定量的な公共事業が必要であると考えますが、市の方針はどうか。</p> <p>イ 昨今の建設事業者は、人材不足や高齢化などにより雇用環境がかつてない厳しい状況となっており、事業の存続にも影響が出てくると聞く。この問題の解決や工事発注の平準化に向け、少額での債務負担行為の設定や、事業の繰越しの活用を図れないか。こうした対応は、豪雪地帯でもある当市の特殊性からも有効な手段と思えるが、その点も含め考えを聞きたい。</p> <p>2. 上越市地域防災計画の見直しについて</p> <p>(1) 今年も多くの災害が日本列島を襲ったが、特に 7 月の西日本豪雨災害では、災害対策上の教訓が多かった。市では、検証を行っていると聞いたが、今後の地域防災計画の見直しに反映するものがあるのか聞きたい。あわせて、地域防災計画の見直しに向けて国ではどのような動きがあるのか聞きたい。</p> <p>3. 原子力災害対策について</p> <p>(1) 現在、県において広域避難計画を作成中と聞いているが、結論はいつ頃出るのか。また、市に計画の内容が知らされるのはいつ頃か。それぞれ見通しが示されているのか。</p> <p>(2) 県の避難計画が示されていない現状であっても、市が自ら整理した「上越市原子力災害に備えた屋内退避・避難計画」に基づき、11 月 18 日に行った「平成 30 年度上越市原子力防災訓練」は、柏崎刈羽原子力発電所が停止中でも核燃料が保管されている現状において、必要かつ現実的な訓練であったと評価される。こうしたことから、訓練の必要性を広く住民に理解いただくためにも、今後も適時、的確な原子力災害に関する情報提供と市独自の訓練を重ねる必要があると考えますが、改めて市長の考えを聞きたい。</p>
順位	
議席 氏名	質 問 事 項
<p>12</p> <p>9 番 田 中 聡</p>	<p>1. 当市における人手不足に対する対応策について</p> <p>(1) 人材不足は企業における問題だけではなく、当市の経済及び市民生活に関わる大きな問題であるが、当市の果たすべき役割をどのように考えるか。</p> <p>(2) 少子高齢化および労働人口の流出により、全国的に人手不足が深刻な状況となっており、このことは当市としても例外ではない。市としてどのような対策を講じる考えか。</p> <p>2. 観光振興と地域活性化について</p> <p>(1) 人口減少が進む地方において、観光振興は「稼ぐ力」を創出し、「地域への誇りと愛着」を醸成する重要な政策であり、さらなる強化を図る必要があると考えますが、当市の方針を聞きたい。</p> <p>(2) 観光振興には、行政だけではなく民間企業も含め多くの団体や人が関わることになる。各団体の役割分担が重要になってくる中、行政が果たす役割をどのように考えるか。</p> <p>(3) 観光振興を積極的に行っている地方都市では、産業観光分野の行政組織を多様に展開し、取り組んでいる。当市も観光に関する様々な分野に対応するため、組織の強化が必要ではないか。</p>

順位		
議席 氏名	質 問 事 項	
13	<p>1. 道田川の市管理区間の整備について</p> <p>(1) 農業用排水路である道田川は、ほ場整備事業により上流部が改修されるが、その下流の市管理区間は、素掘りの掘り込み河道であり、草木が繁茂し流水の疎外、害虫の発生等、地域住民は早期の改修を求めてきた。上流のほ場整備事業に併せ、市管理区間も整備すべきでないか。</p> <p>2. 旧桑曾根川の埋め立てについて</p> <p>(1) 県は旧桑曾根川の埋め立てに平成 28 年度に着手したが、旧河川全体が軟弱地盤のため、その後中断している。現状の課題と、今後の予定を聞きたい。</p>	22 番 飯 塚 義 隆
順位		
議席 氏名	質 問 事 項	
14	<p>1. 市民が主体のまちづくりについて</p> <p>(1) 第 6 次上越市行政改革推進計画から、上越市第 6 次総合計画の土台作りと位置付けられていた『新しい公共』の創造・推進が削除された理由は何か。</p> <p>(2) NPO や市民活動団体等との連携・協働を推進してきたと考えるが、その現状と課題、今後の取組について聞きたい。</p> <p>(3) 町内会も高齢化や人口減少、住民の価値観の多様化等で、これまでどおりの活動や組織維持が難しくなっている。行政は町内会の活動に対して指導はできないが、いずれ手を差し伸べなくてはならない時期が来ると考える。それに備えた準備が必要ではないか。</p> <p>(4) 性別に関係なく個性や能力が発揮できる社会づくりが進められている。しかし、まだまだ女性の割合が少ないのが現状で、まちづくり分野も例外ではない。上越市では以前、女性大学を開講し、その受講者から多くの人材が今も活躍している。「まちづくり女性大学」を開講し、女性の意識啓発と活躍しやすい環境づくりを推進してはどうか。</p>	21 番 栗 田 英 明
順位		

順位		
議席 氏名	質 問 事 項	
<p>15</p> <p>24 番 江 口 修 一</p>	<p>1. 直江津のまちの今後について</p> <p>(1) イトーヨーカドー直江津店の撤退の理由は何か。</p> <p>(2) 撤退後の核となる後継テナントを間断なく誘致して欲しいとしているが、エルマールの存続や直江津の位置付けとして大きな影響がある中、行政としてどう関わっていくのか。</p> <p>(3) 第 2 期中心市街地活性化プログラムにおいて調査している直江津地区の歩行者交通量調査について、29 年度の調査結果をどのように分析しているか。また、30 年度の調査について、結果と分析を現在分かる範囲で聞きたい。</p> <p>2. 行政改革の取組について</p> <p>(1) 第 5 次行政改革の効果額はどれくらいか。</p> <p>(2) 人件費・物件費等及び定員管理（職員数）の水準が類似団体の中では常に最下位である。抜本的な改革はないのか。</p> <p>(3) 第 6 次行政改革では、効果的・効率的な組織体制の推進としているが、人口減少時代に行政も全庁的に ICT 化を進め、RPA・AI・OCR を活用するなど、「スマート自治体への転換」を目指す考えはないか。</p>	
順位		
議席 氏名	質 問 事 項	
<p>16</p> <p>11 番 櫻 庭 節 子</p>	<p>1. 健康のための運動の推進に関して</p> <p>(1) 取組初年度の途中ではあるが、健康づくりポイント事業は市民にどう受け止められていると考えているか。また、市民の運動習慣を促すための取組が必要であると考えているが、市として今後どういったことができると考えているか聞きたい。</p> <p>2. 8050 問題について</p> <p>(1) 当市の生活困窮者自立支援事業は、相談者に寄り添った形で自立への支援が行なっていると評価しており、当市の 8050 問題の対応についても、このようなきめ細やかな相談対応が必要であると考えている。今後、どのように支援を拡大していくか、考えを聞きたい。</p> <p>3. 当市の公共交通のあり方について</p> <p>(1) 人口減少と戦う自治体にとって公共交通政策は大きな課題である。長期的に見て当市がとる市民生活を守る最低限の公共交通の在り方、特に中山間地域における公共交通について聞きたい。</p> <p>4. 学校運営協議会制度について</p> <p>(1) 当市が先進的に学校運営協議会制度に取り組んできたことには一定の評価をするが、現時点での協議会は、委員の参加意識が高く活動が充実している地域もあれば、なかなか主体性が高まらず、地域による差が大きいと聞いている。教育委員会として現状をどのように捉え、考えられる課題にどう取り組んでいくか聞きたい。</p>	

順位	
議席 氏名	質 問 事 項
<p>17</p> <p>18 番 渡 邊 隆</p>	<p>1. 高田公園を東西に分断する市道と、隣接する土地や施設について</p> <p>(1) 三の丸広場と旧ソフトボール場跡地の広場を一体的な敷地にとらえ、安全かつ有効的に活用するため市道を一部廃止し新しい道路を切り替え、高田城址公園に相応しい環境整備に取り組むべきであると考えているがどうか。</p> <p>(2) 旧ソフトボール場に隣接する、国土交通省高田河川国道事務所高田出張所跡地や総合博物館収蔵庫跡地に加え、老朽化の著しい春秋会館、供用廃止された南城浄水場などの敷地を含め、有効に活用する考えはあるのか。</p> <p>(3) これら敷地の外周にある水路は、排水機能や衛生環境も含め、早急な対策が必要と考えるがどうか。</p> <p>2. 新野球場建設に関する団体要望について</p> <p>(1) 上越市野球協会からの要望に対し、市長は「上越地域の野球のレベルを上げ、野球で集う施設を考えなければいけない時期なのかもしれない」と答えているが、要望を受けどのようなことを感じているか、市長の思いを聞きたい。</p>
順位	
議席 氏名	質 問 事 項
<p>18</p> <p>13 番 滝 沢 一 成</p>	<p>1. 高田市街地のあるべき姿について</p> <p>(1) 高田市街地の各地区（本町7丁目等いわゆる雁木町家街、高田公園、寺町（大門通含む）、本町3・4・5丁目いわゆる中心市街地商店街）について、市長の構想する「将来的にあるべき姿」、つまり長期的な視野で見たとき、どのような姿が達成されているべきだと考えるか。</p> <p>2. 関係人口創出について</p> <p>(1) 総務省の検討会において、移住した「定住人口」でもなく、観光に来た「交流人口」でもなく、地域や地域の人々と多様に係る「関係人口」の重要性について議論された。新潟県では、柏崎市、新発田市、魚沼市がいち早くモデル事業に手を挙げているが、本市としてこの「関係人口」についてどのように考えるか。</p> <p>(2) これまでの答弁から、市長はふるさと納税に対し懐疑的であると推察する。しかし「関係人口」という新しい概念が生まれつつある今、市としてもふるさと納税を活用した新しいかわりを検討すべきではないか。</p> <p>3. 県のいわゆる民泊条例について</p> <p>(1) この夏より、県のいわゆる民泊条例が施行されている。県は、学校からの距離を求める「100メートル規制」について緩和策を打ち出し、全市一律の対応ではなく、個別の学校に即した対応を認めている。市としては、この緩和策を生かし、民泊という新しい事業形態を支援すべきと考えるがどうか。</p> <p>4. 公共交通に関して</p> <p>(1) 全世界的に、ガソリン車の禁止、完全自動運転、カーシェアリングが急速に進んでいるが、日本は出遅れているといわれている。そうした中、地方における公共交通、特にバスの在り方も大きく変わっていかざるを得ないとする。完全自動運転、カーシェアリングに対する考え方と将来的なバスのあり方について市長はどう考えるか。</p>

順位	質 問 事 項
議席 氏名	
19	<p>1. 少子化対策関連施策（縁結び、婚活）について</p>
3 番 丸 山 章	<p>(1) 独身の方のための出会いの場の提供や、結婚へつなげるための事業や支援策に関して下記のことについて聞きたい。</p> <p>ア 婚活イベント等の事業を市で実施する考えはないか。</p> <p>イ 結婚を希望する独身の方の出会いを応援するため、出会いの場の提供支援や良縁を取り持つ組織の設置、サポーター・アドバイザー制度の導入等を行う考えはないか。また、縁結び成立祝金を支給する考えはないか。</p> <p>ウ 若者、独身者の結婚を促し、経済的な支援を図ることを目的に、結婚相談所入会費用等への助成や結婚祝金制度を実施する考えはないか。</p> <p>(2) 少子化対策に密接に関係のある縁結びや婚活に関する支援等を盛り込んだ計画はないのか聞きたい。</p>